

## 新刊の概要

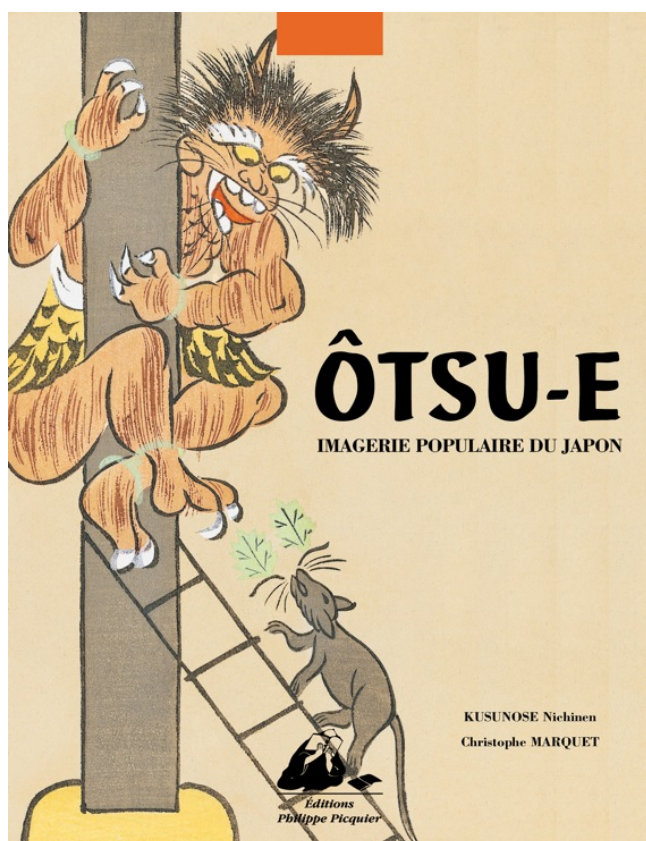
楠瀬日年（画）、クリストフ・マルケ（解説）『日本の民画・大津絵』ピキエ社（フランス）2015年4月2日発行 256頁 定価35ユーロ ISBN 978-2-8097-0966-7

Kusunose Nichinen, Christophe Marquet, *Ôtsu-e : imagerie populaire du Japon*, Arles, Ed. Philippe Picquier, 2015, 256 p.

大正9年に篆刻家の楠瀬日年（1888-1960）が消滅する危機にあった江戸時代の代表的な民画である大津絵を100点ほど模写し、小型の合羽摺の木版画に起こした。本書では、この大津絵版画78点を複製し、それぞれに画題の解説を付すとともに、大津絵の歴史を概説し、民藝運動の柳宗悦などに先立って大正時代の楠瀬日年による大津絵の再発見や再評価を論考した。フランスで初めて出版される大津絵を題材とした書籍である。

本書の紹介（フランス国立図書館HP 仏文）

[http://nouveautes-editeurs.bnf.fr/annonces.html?id\\_declaration=10000000192920&titre\\_livre=%8Ctsu-e\\_i\\_magerie\\_populaire\\_du\\_Japon](http://nouveautes-editeurs.bnf.fr/annonces.html?id_declaration=10000000192920&titre_livre=%8Ctsu-e_i_magerie_populaire_du_Japon)



## 著者の関連の論文

クリストフ・マルケ「大津絵の魅力をフランスへ」『日本芸術振興文化会ニュース』（国立劇場公演ガイド）2014年10月

[http://marquet.inalco.free.fr/doc/JapanArtsCouncil\\_p7.pdf](http://marquet.inalco.free.fr/doc/JapanArtsCouncil_p7.pdf)

クリストフ・マルケ「江戸時代の民画におけるパロディの精神—大津絵再考」  
（ツベタナ・クリステワ編『パロディと日本文化』笠間書院、2014年12月所収）

[http://kasamashoin.jp/2014/11/post\\_3076.html](http://kasamashoin.jp/2014/11/post_3076.html)

## 著者プロフィール

クリストフ・マルケ（Christophe Marquet）1965年、フランス生まれ。フランス国立東洋言語文化大学（INALCO）教授、日仏会館フランス事務所・日本研究センター所長。日本近世・近代美術史と出版文化史を専門。

日本語の編著に『絵を読む、文字を見る—日本文学とその媒体』（勉誠出版、2008年）、『日本の文字文化を探る—日仏の視点から』（勉誠出版、2010年）、『テキストとイメージを編む—出版文化の日仏交流』（勉誠出版、2015年）などがある。

フランスでは光琳、北斎、歌麿、鋤形蕙斎、河鍋暁斎など数多くの江戸時代の画譜の翻訳と復刻を出版。

HP : <http://marquet.inalco.free.fr>